

(活動報告書様式)

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	酒田港でのリサイクル物流の活性化 (酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	1,039,691 円
		うち助成金額	950,000 円



<事業目的>

当NPO法人は、国土交通省、山形県および酒田市などの行政とともに、酒田港の経済活動活性化とリサイクルポート機能を十二分に発揚することを目的に設立された。本事業では、山形県民および多くの企業の皆様方から、当NPO法人を活用いただきリサイクル資源の再利用促進や酒田港の見学ガイドツアーによるPR拡大等により、県内全域での経済活性化、若者の地元定着への取組みを図る。

<事業内容>

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により酒田港国際資源循環フォーラムおよび山形県主催の酒田港ポートセミナーの中止、酒田港見学ツアーガイドサービス事業も大幅な活動の制約を受けた。

1.山形県内外への酒田港利用PR（物流拡大）

今年度も、酒田市公益活動支援事業と連携し、酒田港見学ツアーガイドサービス事業を展開し、酒田港のPR強化に取り組んだ。訪問説明は89箇所を実施し、見学者は、17団体(451名)であった。

2.山形県内における新たな循環資源のリサイクル物流情報の調査、実状把握(情報収集) 行政当局とともに「酒田港での循環資源の海上輸送推進に向けた検討会」のなかで、国際価格が上昇していた鉄スクラップに着目し、価格動向等の検討会を実施した。

<事業効果>

山形県内(酒田市)のリサイクル企業が新たに技術開発した再生砕石は、今後、期待が大きく伸びる領域があると考えられる。また、クリンカ灰の有効利用は、庄内地区での天然資材(山砂)の不足により今後も需要が伸びるこ

とが予想される。廃棄物を再利用することで環境面への有利性が高く、今後も計画的に販売を継続して行く。

<今後の展望>

循環資源の再利用と港湾関係業務に特化した当NPO法人が、事業者同士の連携や新たな枠組みを構築させることにより、今後、ビジネス分野が大きく広がっていく可能性がある。山形県内の経済活性化に酒田港利用PR強化とリサイクル品の営業支援は、企業誘致に伴う雇用の増大および若年層の県内定着化等、今後、必要不可欠であると思う。